

町民一人あたりでみる決算

平成29年度の決算について、本ページで町民一人あたりの金額に換算しました。下図を見ると、民生費が113,300円となり一人あたりの負担が高くなっていることが今後、少子高齢化が進み、一人あたり民生費の負担がますます高くなることが予想さ

特徴として表れています。れることから、行財政改革による歳出抑制や歳入増加などが喫緊の課題となっております。

町民一人あたりでみる 歳出状況 (使ったお金)

議会費  5,100円 議会運営	総務費  82,800円 町の運営事務など	民生費  113,300円 高齢者・子ども・障がい者などの福祉サービス
衛生費  47,800円 町民の健康維持増進 ゴミやし尿処理	農林水産業費  11,600円 農業や漁業の振興	商工費  17,100円 商業・観光の振興
土木費  19,800円 道路・住宅の整備など	消防費  29,300円 消防・防災業務	教育費  31,400円 教育や生涯学習の推進
災害復旧費  3,400円 災害復旧事業	公債費  41,200円 借金の返済	一人あたり合計 402,800円

※上記金額は平成30年3月末現在の総人口から算出した。

町民一人あたりでみる 町税負担の状況

町民税 42,500円 	固定資産税 96,000円 
軽自動車税 2,800円 	町のたばこ税 8,300円 

平成29年度歳入歳出決算額

会計	歳入総額	歳出総額	差引
一般会計	52億2212万円	50億171万円	2億2041万円
国民健康保険特別会計	23億1061万円	21億8582万円	1億2479万円
後期高齢者医療特別会計	1億7076万円	1億7074万円	2万円
介護保険特別会計	13億4551万円	12億6638万円	7913万円
稲取財産区特別会計	83万円	79万円	4万円
風力発電事業特別会計	4331万円	4278万円	53万円
水道事業特別会計	4億5587万円	4億2851万円	2736万円

※水道事業会計は第3条（収益的収入及び支出）決算による。

- 一般会計とは…教育、福祉、道路整備など町の基本的な行政サービスを行う会計
- 特別会計とは…国民健康保険税や水道使用料など特定の収入で特定の事業を行う場合に設ける会計